



ひろしま農振

News

第5号

H7 7/1

【財団法人 広島市農業振興センター】

〒739-17 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
TEL (082) 845-4770

がんばれ“ひろしまそだち”



安佐南区上安で施設によつて高級切り花を中心に栽培している松田さん夫妻。



安佐南区上安で乳牛約60頭を家族と共に飼養している栗原さん一家。



安佐北区白木町中三田でハウス切り花を中心に栽培している黒河さん。現在バラを出荷中。

安佐北区安佐町三国で花木栽培に取り組んでいる3年目のニューフェイス倉本武志さん。



東区福田でハウス10棟で軟弱小物野菜類を中心に栽培している倉田さん。現在小松菜を出荷中。



安芸区畑賀でブドウ及びイチゴ中心に栽培している今田さん。8月下旬よりおいしいブドウ収穫開始。



佐伯区五日市でハウス4棟で果菜類を中心に栽培している奥田さん。現在トマトを出荷中。



佐伯区五日市町皆賀で乳牛約40頭を家族と共に飼養している畜産界のニューフェイス山下知美さん。



この広報紙は再生紙を使用しています。

『見えてきた新しい農地』

—工事中の安佐町明見谷地区—



▲工事前

平成6年秋から工事に着手した安佐町明見谷地区。280枚余りの棚田が35枚(予定)の農地にまとめられ、効率的な営農が期待されます。現在、地元関係者で営農計画の話し合いが行われています。



▲工事中(平成8年度完成予定)

「ひろしまそだち」
特産化事業

—シンボルマーク決定—

「ひろしまそだち」のシンボルマークが決定しました。公募ガイド、市民と市政、新聞、テレビ等で募集したところ、全国から757点もの応募がありました。広島市立大学芸術学部の池田教授、及川助教授の指導のもと「ひろしまそだち」特産化推進協議会の代表者によって選考会が、開催されました。入選作品8点が決定し、今後は、品質保証の小マーク(安全、新鮮、健康、美味しさ、特産)と併せて市場や店頭でみなさまの前に姿を見せてゆく予定です。



▲平成7年4月20日(休)選考会の様子

▲大阪府河内長野市
忠本孝示氏作品

ザ・産地づくり特集

—現地レポート(白木町原奥谷地区)—



白木町原奥谷地区で、平成6年よりグルリオサの産地づくりが始まっています。

グルリオサは、「ひろしまそだち」特産化事業の中でも重要な品目として挙げられており、原奥谷地区の桜井さんのビニールハウス約10アールで栽培が行われており、ひろしまの特産として、市場へ出荷されています。

▲「ひろしまそだち」実証展示園の様子

処理場造成工事が完了しました!

—安佐町小河内地区農業集落排水事業—



平成4年から管路工事を行っている安佐町的小河内地区では、昨年度末に処理場の造成工事が完了いたしました。

ひきつづき今年度より、処理場本体工事にとりかかり、平成8年度一部供用開始を目指し、工事を進めています。

▲安佐町小河内地区処理場用地

産地化めざしバイテク球供給開始

—グルリオサのバイテク球を農家で試験栽培—

グルリオサはユリ科の球根で、鮮やかな色彩のため人気が高い花の一つです。しかし、球根の増殖が悪く、高値であるため農家は導入しにくく、また、ウイルス



▲バイテクにより増殖したグルリオサ



▲センター3階のバイテク室
スによる品質の低下も問題となっていました。センターでは、バイテクによるウイルスフリー球根の増殖に成功し、昨年、試験的に農家に栽培してもらっています。今後、結果を見て栽培方法等を検討し、「ひろしまそだち」のひとつとして農家に普及していく予定です。

ついにおめみえスーパーカウ!

—全米1位の娘牛—



▲テリー(左) キャディ(右)

2月28日、安佐町の広島市青少年野外活動センター「こども村」に、はるばるアメリカから2頭の「スーパーカウ」がお目見えしました。広島市が1,200万円の費用をかけて購入したホルスタインで、体型、乳質、乳量の遺伝的能力がきわめて高く、特に乳量は並の乳牛のなんと2倍近い生産力を誇るというすぐれものの牛です。

広島市農業振興センターではこのスーパーカウから受精卵を取り出し、市内の酪農家の乳牛を借腹牛として受精卵移植を行う予定です。広島市はさらに平成7年度と8年度にも2頭ずつのスーパーカウを導入し、市内の乳牛の改良と酪農経営の改善を進めていく方針です。将来このスーパーカウたちの子孫がどんどん増えて大いに活躍してくれることを願ってやみません。

TOPICS

トピックス



広島市農業の振興を図るため 園芸課活動中!"



▲園芸課施設全景

当センター園芸課では、バイオ技術研究開発、野菜・花きの栽培試験、土壌分析等を行っています。

▲土壌分析室

土壌分析では、土の健康診断を行っており2～4週間くらいで診断表にしてお返ししております。

また、施設内では、一年を通じて、野菜・花きの試験栽培を行っておりますので、是非ご来所下さい。



世界初!エビネの大量増殖に成功

センターでは絶滅の危機にひんしている日本原産の野生蘭であるエビネの大量増殖に成功し、今年そのうちの100株が開花しました。シンビジウムなどで使われるメリクロン技術を応用したもので、理論的には一つの生長点から無限に殖やすことができます。親株と同じものが大量にできるため、今後は観賞価値の高い個体を増殖し、園芸化を検討していきます。



▲バイオで増殖中



▲エビネ(タカネ)の花

盛大に開催



シャクナゲ展・花木展!" ～花みどり公園～

花みどり公園シャクナゲの国では4月29日から5月7日までシャクナゲ展・花木展が開催され、雨の日があつたにもかかわらず期間中5万人以上の人出でにぎわいました。園内のシャクナゲが、ちょうど見頃で来園者は、春の1日をゆっくりと楽しんでいました。



活気づく直売所4月1日Open ～バザール神ノ倉(白木町井原地区)～

▲建築中の
バザール神ノ倉

▲県道広島三次線沿いのバザール神ノ倉

バザール神ノ倉と銘打つこの直売所は、白木町井原地区の婦人グループ47名で運営されており、平成6年6月1日に手作りの直売所としてオープンしていましたが、新たに平成7年4月1日に、木造平屋建て175㎡を、補助事業で建設したものです。

場所は、県道広島三次線沿いにあり、また、販売品目も生鮮野菜から加工品と多種多様のため、オープン時より利用客が多く大好評です。販売時間は、水・土・日の8:00～12:00頃までです。



追崎グループ直売所 ～(安佐町追崎地区)～

このグループは、安佐町追崎地区の農家の婦人グループ12名で構成し、地域の活性化の一手段として、取り組んでいます。

発足は、平成7年の4月1日からで、販売時間は、土・日の8:00～17:00頃までです。

三段峡、深入山へ通じている国道191号線沿いに位置することから、利用客が多く、また、古くからの野菜生産地でもあることから、品質面でも優れており、安さと併せ好評を得ています。

これからの品物は、軟弱小物野菜、果菜類、干し椎茸、アユが主力で、7月下旬からは目玉商品のスイカも加わります。



▲191号線沿いの追崎グループ直売所

ぜひ一度行って見られては!